

ロジスティクス環境会議  
第7回源流管理による環境改善委員会

2004年8月30日(月)14:00～17:00  
浜松町東京會館 「オリオン」

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 全体構成について
- 2) 原稿内容の確認について
- 3) その他

3. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 源流管理マニュアル目次(例)  
資料2 : マニュアル原稿(原案)  
参考資料1 : 第6回委員会議事録

以 上

## 本日・今後の進め方

- 1) 全体構成（目次）の確認（本日）
- 2) 分科会毎に担当分について上述の観点で読み合わせ（本日）
  - ・分科会メンバーで担当の原稿をご確認頂き、分科会としての方針や修正方向等を検討する。
- 3) 執筆者による見直し（本日）
  - ・分科会での決定事項や上述のマニュアル作成のポイントを参考に執筆分を修文する。
- 4) 事務局で修文（今後）
  - ・各執筆者が添削した原稿を回収し、事務局で若干の修文を加えます。基本的には他の原稿とのトーンの統一や用語の統一、文章の平易化等を実施します。
  - ・再度、原稿を確認されたい方には事務局にご連絡頂ければ、ファイルを送付します。

以 上

## マニュアルの作成に向けて

### 1. マニュアル作成のポイント

#### 1) わかりやすい表現

- ・荷主の物流担当者、物流事業者、荷主の営業担当者等の主語を明確にし、「誰が」「何を」「何のために」「どうするのか」をわかりやすく表現する。
- ・業界や業種で物流等に使用される用語は異なるので、可能な限り平易でわかりやすくする。専門用語は最初に登場する用語の後ろに（ ）書き等で意味を記載する。

#### 2) マニュアルとしてわかりやすく

- ・現在執筆しているマニュアルは荷主の物流担当者や物流事業者が読むと想定される。業界や業種で物流は異なるため、読み手の立場に立って分かりやすくする必要がある。初めて取り組む人が、記載されている施策だけを読んで意味がわかるようになっているか。特に荷主の物流部門や物流事業者として実施すべき内容が盛り込まれているか？表現を一般化する。自社の取り組みや苦労話は1つの事例として整理する。（「当社」という表現はやめる）

#### 3) その他

- ・マニュアルは不特定多数の人々が見る可能性があるため、執筆者所属会社の守秘等を考慮して見直す。についての記載が広く一般にオープンにして良い内容となっているか確認する。
- ・各分科会のアウトプットとして抜けや漏れはないか？
- ・施策実施上の課題は明確にする。（例えば素材の判断基準、CO2排出量の少ない輸送機関等）

### 2. 本日・今後の進め方

#### 1) 分科会毎に担当分について上述の観点で読み合わせ（本日）

- ・分科会メンバーで担当の原稿をご確認頂き、分科会としての方針や修正方向等を検討する。
- ・分科会として荷主の物流部門や物流事業者としてできる施策は全て盛り込まれているか？

#### 2) 執筆者による見直し（本日）

- ・分科会での決定事項や上述のマニュアル作成のポイントを参考に執筆分を修文する。

#### 3) 事務局で修文（今後）

- ・各執筆者が添削した原稿を回収し、事務局で若干の修文を加えます。基本的には他の原稿とのトーンの統一や用語の統一、文章の平易化等を実施します。
- ・再度、原稿を確認されたい方には事務局にご連絡頂ければ、ファイルを送付します。

以上

## 分科会別のコメント

### 1) 包装

- ・素材とリサイクルの管理手法が中心である。他の抜けや漏れの可否はないか？
- ・目的、主体、管理項目、施策名のトーンを統一する。
- ・現段階の管理項目は以下の通り。  
(スリッパフィルム)素材の見直し、廃止、減量化  
IT活用による包装資材の新管理手法      パレットの管理方法？  
緩衝素材の見直し  
ダンボール使用量  
PPバンドの使用量

### 2) 輸送

- ・執筆者毎にオーバーラップがあるので、要調整。管理項目レベルからみて施策が出ているか？
- ・目的、主体、管理項目、施策名のトーンを統一する。
- ・現段階の管理項目は以下の通り。  
輸送要件の確認(2種)  
輸送事業者の選定(輸送事業者選定基準に環境方針の策定・実施状況を反映、低公害車の導入促進の2種)  
長距離輸送ルートを選定  
輸送積載率の確認(モーダルシフトの実施、同業他社との輸送・配車業務提携実施の2種)  
運行状態の確認  
輸送積載率の確認  
4つの管理項目(環境方針策定、エコドライブ、輸送効率化・モーダルシフト、低公害車等導入)

### 3) 保管・荷役・流通加工

- ・物流拠点における施策を対象としている。CO2の排出に繋がる電力や運搬機器等のエネルギーを伴うものが対象となるので、この観点から抜けや漏れの可否を判断してはどうか？
- ・目的、主体、管理項目、施策名のトーンを統一する。
- ・現段階の管理項目は以下の通り。  
冷凍・冷蔵・空調機器の選定・管理  
入荷・ピッキング・出荷時の紙使用の削減  
荷姿の工夫  
入荷待等車両の駐車時の管理  
荷役機器の選定  
電気エネルギー消費の削減  
倉庫の管理システム

## 源流管理マニュアル【第 1 ステップ】

### 目 次（例）

- 1 . はじめに  
    委員会の目的、経緯、マニュアルの考え方
- 2 . 源流管理とは（考え方、範囲などの説明）
- 3 . 委員会名簿一覧
- 4 . マニュアル本編
  - 4 - 1 . 包装
    - 1 ) 廃止・減量化
    - 2 ) 素材の選択
    - 3 ) 梱包・包装方法の選択
  - 4 - 2 . 輸送
    - 1 ) 輸送要件の確認
    - 2 ) 輸送手段（モード）の選定
    - 3 ) 輸送事業者の選定
    - 4 ) 輸送積載率の確認
    - 5 ) 輸送ルート of 選定
    - 6 ) 運行状態の確認
    - 7 ) 実績把握
  - 4 - 3 . 拠点（保管・荷役・流通加工）
    - 1 ) 荷役機器の選定
    - 2 ) 照明機器の選定
    - 3 ) 空調機器の選定
    - 4 ) 倉庫の管理システム
    - 5 ) 仕分けシステム
    - 6 ) 敷地内の管理

以 上

ロジスティクス環境会議  
第6回源流管理による環境改善委員会 議事録

・日 時：2004年7月7日(水) 14:00～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

・出席者：26名

・議 案：

- 1) 今後の進め方について
- 2) マニュアルについて

・開 会

定刻、小西委員長により、開会が宣された。

・議事の経過

1. 議 事

小西委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 今後の進め方について

事務局より、資料1、資料2に基づき、以下のような説明が行われた。

- ・今日の委員会では、管理項目および管理項目と施策の内容の確認をしていきたい。
- ・現状プロセスについては、各社ならびに業界特有の標記が多いため、マニュアルとして第三者が理解できるように一般化していただきたい。
- ・効果測定(定量化指標)については、各社で抱えている問題点や課題、例えば、車各別の原単位や按分方法等が無い、分からない等をパフォーマンス委員会に検討事項として投げかけるため、次回の7回委員会まで事務局まで連絡いただきたい。

以上の説明が行われた後、以下のような意見交換が行われた。

【意見交換の主な内容】

委 員：マニュアルを活用する視点から考えると、管理項目や施策の部分を中心にすることが多いのではないか。

委 員：資料2の項目の順番については、実務のプロセスに併せた方が良いのではないか。

委 員：管理項目の並びについては、ある程度マニュアルが整ったところで確認しても良いのではないか。使う視点で加筆すべき事項が浮き上がってくるのではないか。

委 員：現在、分科会は「包装」「輸送」「拠点」に分かれているが、重なり等があるはずであり、他分科会に対しての要望も出てくるのではないか。

委 員：形状、荷姿はどこにも入っていないため、各分科会で検討して欲しい。

委員：包装の評価尺度で困っている。現状では重量ベースで算定、評価しているが、包装材によって環境負荷が変わってくるはずであり、その原単位が欲しい。

委員：リバースの視点が弱いのではないか。パレットの回収は大きな問題であるが、その点あまり出てきていない。

委員：パレットの回収場所などに関して、フォーマットでは記載するところが無かった。

事務局：項目以外のことも記載いただけるようなかたちにしたい。

委員：パレットの問題については、動脈と静脈の両面からアプローチする必要があるのではないか。

委員：業務プロセスに関して、メンバーが一般化することは難しいのではないか。

以上のような意見交換の後、分科会毎に検討を行った。

### 【主な検討内容】

#### 1) 包装分科会

包装要件としての目的等の確認と管理項目の見直しを行った。

(1)目的	(2)方法	(3)素材
品質確保（商品保護） ・ 輸送品質 ・ 商品品質  荷崩れ防止  効率的輸送	通い箱 シュリンク	廃止 減量化 リユース リターナブル リサイクル 効率的管理

管理項目の見直し

(1)条件の見直し

(2)方法の見直し

(3)素材の見直し

(4)素材の廃止、減量化

(5)管理（情報）

#### 2) 輸送分科会

施策のレベルが細かすぎるため、管理項目の担当毎に見直し、事務局まで送る。

#### 3) 拠点分科会

保管の前提条件、拠点の業務フローを念頭におき、改めて追加すべき管理項目等を検討する。

以上のような分科会毎に検討を行った後、以下のようにマニュアルをまとめていくことが確認された。

- ・引続き、担当の管理項目に対する施策概要、施策実現のための課題、定量化指標について、書き込みを行う。  
業務プロセスはマニュアルの活用面から考えると、他項目と比較して重要度が低いいため、これ以上の作業は行わない。

提出期日：8月6日（金）

提出方法：添付フォーマットにて、事務局宛にメール添付

フォーマットを変更いたしました。誠に恐縮ですが、旧版の内容をコピーのうえ、書き込みをお願い申し上げます。

## 2. スケジュールについて

第6回委員会・・・日時：2004年8月30日（月）14：00～17：00

会場：浜松町東京會館 39階 オリオン

既にご案内のとおり、8/24(火)より上記日程に変更させていただきました。

## ・閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、小西委員長は閉会を宣した。

以 上